



県議団NEWS

vol. 24 OCT.
2005.10

発行：公明党埼玉県議団 〒330-0063 さつま市浦和区高砂3-15-1 TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408

障害者駐車場の整備や不妊治療助成の延長など

埼玉県議会
9月定例会

県民の立場で政策実現

埼玉県議会 9月定例会が10月14日に閉会した。今回は石渡豊議員、久保田厚子議員が県民の立場に立つて一般質問を行った。

庶民の目線で様々な問題について質問し政策実現を果たした。

石渡議員は、課税自主権行使と行財政改革、アスベスト対策、介護保険 3施設に関する施策、県有施設における障害者用駐車場の整備、中高一貫教育校の整備推進などを質問。県有施設には、10年前に制定された「福祉のまちづくり条例」で障害者駐車場の設置が義務付けられたにもかかわらず、64カ所が未整備だった。この問題を指摘、副知事に「速やかな

問題を指摘、副知事に「速やかな



石渡 豊 議員



久保田厚子 議員

知事に18年度予算要望



県民の思いを知事に手渡し

左から、塩野正行議員、蒲生徳明議員、畠山清彦議員、山本晴造議員、西山淳次議員、上田知事、福永信之議員、西田矩子議員、森泉義夫議員、久保田厚子議員、石渡 豊議員

埼玉県議会公明党議員団は、9月定例会閉会日の14日、上田清司知事に18年度予算要望書を提出した。予算要望は、①税金の無駄遣いの徹底したチェック、②埼玉県経済の活性化、③少子高齢化対策、④教育への投資、⑤防災対策の充実・強化を柱に、18年度予算編成に当たって何としても実現してもらいたい政策や課題として160項目に及ぶ重点項目に加え、それぞれの地元市の地域要望をまとめたもの。

に設置する」と確約させた。久保田議員は、子育て支援、ウオムビズ、教育問題、医療体制の拡充、内部障害者等への支援策の拡充、駐車違反などについて質問。子育て支援のうち、不妊治療費の助成について、現行では2年間だが、それ以降に治療が成功する事例が多いことから5年間への延長を提案、上田知事も「5年に延長すること」を約束した。

公明党、衆院選 比例区で過去最高!

～支持者の皆様へ感謝～

突然の解散により去る9月11日に行われた衆議院議員総選挙で、公明党は解散時の議席には届きませんでしたが全国で31議席を獲得、比例区では過去最高の898万票（前回比25万票増）を獲得させていただきました。埼玉県においても、過去最高の47万9807票と前回に比べ5万1482票と大幅な得票増を達成させていただきました。猛暑の中、夏休み返上で血のにじむような必死のご支援を賜りました党员・支持者の皆様、とりわけ創価学会員の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。皆様のご恩に報いるため、公明党県議団一同、2007年の統一地方選、参院選の完勝に向け全力で戦ってまいります。

